

こんにちは。今年の8月下旬からカナダの Penticton に留学している高等部1年の安嶋士温です。今回は実際に現地の公立の学校に通って感じた「日本とカナダの学校の違い」について話していこうと思います。

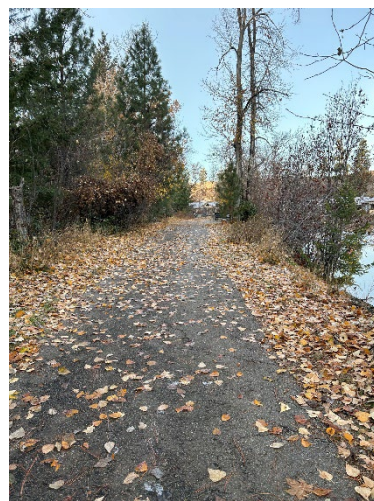


まずは服装の違いです。これは知っている人も多いと思いますが、カナダの多くの高校では制服がなく常に私服です。ただooDay (例:Orange Shirt Day) というのがあって、この日はできればこのような服を着てきて下さいという日 (強制ではない) もあります。上履きという概念もなく、体育館も外で履いている靴で入ります。

また授業の方式も違います。日本は通常の授業だと教室に担当の教員が来て授業をしますが、カナダでは教師がそれぞれ自分の教室を持っており、授業ごとに生徒たちが移動します。授業時間は80分で1日に4授業受けます。2時間目と3時間目の間には **Break** という少し長い休み時間があり、カフェテリアで軽い食べ物を買って食べることができます。またカナダの学校は殆どが前期、後期の二期制です。前期と後期で受ける授業が異なり、それぞれ四科目の授業は決まっており、前期は前期の、後期は後期の四科目の授業を、順番を変えながら受け続けます。

校則も非常に緩く、国と州の決まりを守って学校に来て楽しんで学んでくれればいいと教育委員会の会長が話していました。授業の雰囲気も日本とは全く違い、殆どの人がワイヤレスイヤホンをつけたまま授業を受けています。また、教師の話聞いて課題などやるべきことをやっていれば、スマホやタブレットを触ったり、友達と話したりしても怒られることはないです。ランチの時には、近くのごはん屋さんまで外出できます。また朝礼はなく、一時間目の教師が軽く情報を伝えるだけです。終礼もなく、四時間目が終わり、学校での予定がなければそのまま帰ります。

部活についても違うことばかりです。日本は一度入部届を出して退部届を出すか卒業するまでずっと所属することになりますが、カナダはシーズ



ンごとに部活の種類が変わり、シーズンが変われば、部活も変えることができます。また、人気の部活はトライアウトがあり、合格すればチームに入ることができます。Weight Room (ジム) もあり、決まった曜日の放課後に使うことができます。

以上が「日本とカナダの学校の違い」です。楽しんでいただけたでしょうか。カナダの冬はとても寒く-30℃近くなる日もあります。また夏に皆さんに会えることを楽しみにしております。